平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立山王中学校

1　調査結果の分析と考察

	特長	課題
国語	・「話す・聞く能力」については、おおむね理解できている。特に話合いの話題や方向を捉えることができている。 ・最後まで問題を解こうとする姿勢がみられる。	・話合いの話題や方向を捉えた後、自分の考えをもち、伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くということ。 ・既習の内容を自分のものとして定着をはかること。
数学	・四則計算や簡単な二元一次方程式はおおむね理解できている。 ・資料の傾向を捉え、数学的な表現で説明することがおおむねできている。	・繰り返し計算練習を行い、確実な計算力を身に付けること。 ・文章問題を正確に理解し、丁寧な説明を心がけ、定着をはかること。
英語	・「聞くこと」に関しては、回答率も高く、おおむね理解できている。 ・状況描写の英語を聞いて、適切な解答を選択できている。 ・文法事項について、現在時制における一般動詞の変化や疑問文の作り方など基本的なことを理解し、活用することができている。	・まとまりのある文章を読み、話のあらすじを理解したり、大切な部分を捉えたりすること。 ・与えられた情報に基づいて、英文を正確に書き、まとまりのある文章にすること。 ・理解した語彙や文法を適切に活用すること。 ・既習文法を活用して、書いたり、話したり、英語をアウトプットしたりすること。
質問紙	・話合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると回答している生徒の割合が多い。 ・部活動に参加している生徒が多い。 ・地域の行事に積極的に参加している生徒が多い。	・家で自分で計画を立てて勉強すること。 ・読書や新聞を読むこと。学校図書館の利用。

2①　授業の充実に向けた重点的な取組

【国語】
・基礎学力の定着に努めていく。
・資料等から情報を得て、それに基づいて自分の考えをもち、さらに書いて表現していくことに取り組んでいく。

【英語】
・基礎学力の定着と既習事項の復習に努めていく。

【数学】
・繰り返し計算を行い、基礎学力の定着に努めていく。
・話し合う機会を設定し、自分の考えを発表することで、主体的・対話的な学び合いに取り組んでいく。

2②　家庭（地域）への発信内容（協力依頼事項）　※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

質問紙の特長にあるような子どもたちの自主的な活動は、ご家庭の指導や学校に対するご理解・ご協力、地域の皆様による関わりや見守りといった支えがあっての結果だと、深く感謝いたします。
・家庭で机に向かう習慣を身に付けることは、学校での学習内容の定着や基礎学力を身に付けるために必要なことです。学習計画の立て方なども含めて、ご家庭でも声かけをお願いします。
・読書をおすすめします。まずは自分の興味のある分野から入ったり、ご家庭でおすすめの本を紹介したりしてみてください。